

「馬印の氷砂糖」の販売につきまして、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
5月も後半に入り、既に青梅が出回っている地区もあります。今回は和歌山県南部地区と群馬県榛名、箕郷地区を視察してまいりましたので、その作柄状況についてお知らせ申し上げます。また、氷糖出荷につきましては、青梅の出回りに合わせ万全の準備を致しておりますが、ご注文の集中が予想されるため、お早めの指図をお願い申し上げます。

梅の状況

◆和歌山県

結実後の気候は、相変わらず寒暖の差が大きく、4月末には今年二度目の霜被害が発生し、一部山間地区に影響がありました。日照、降雨は適量で、着果数が少ないため、実の肥大は大きく、5月7日時点で3~4cmの大きさまで成長しています。3月末に低温被害を受けた傷果は、整理落下とともに既に落果しています。

4月22日の着果調査では、南高は前年比65%、古城は昨年より多いものの平年と比べ少ない状況です。凍霜害の影響で、地区、園地によるバラツキが大きく、特に標高の高い園、老木園では少ないようです。

JA発表の予想収穫量は、南高が前年比76%、古城が113%を見込んでいます。ただし、青梅の出荷計画は梅干の不振により、前年比100%と積極的に取り組んでいます。出荷時期は実肥りが良いことから、例年よりやや早く、古城は5月20日頃、南高は5月末から始まり、ピークは6月10日頃になります。着果数が少ないため、大玉傾向になると思われます。

◆群馬県

生育は例年より一週間遅く、5月18日現在2~3cmの実を付けています。開花期の気温が低く、受粉にムラがあったため、着果状況は地区、園地により大きなバラツキがみられます。結実後の気温は平年より低く、降雨量が少なかったため、実肥りは若干遅れています。収穫量は前年より1~2割減少すると見込まれています。出荷時期は、小梅が既に始まっており、主力の白加賀は6月に入ってからになりそうです。

和歌山県 2010年5月7日撮影



群馬県 2010年5月18日撮影



長期陳列のお願い

和歌山南高のピークは6月中旬で、末までは収穫されます。また地場の梅は遅く、例えば中部地区では6月中旬過ぎが収穫時期になります。一部量販店では6月中旬頃に梅コーナーを引き揚げられることがあります。販売チャンスをロスしないよう長期陳列のアドバイスをお願いします。

コンテナ出荷リードタイムのお願い

昨今、環境に対する意識の高まりと、原油価格高騰により大口配送がトラック輸送からコンテナ輸送に移行し、コンテナ不足及び鉄道輸送量過多の状況です。よって従来通りのリードタイムでは配送が困難な状況であります。つきましては、コンテナ出荷において余裕を持ったご注文を頂きますようお願い申し上げます。

販促

◆梅シロップ教室、マネキン試飲

5/22~6/20 全国各地の量販店で実施

◆全日本氷糖工業組合PR

テレビパブリシティ

TBS系列全国ネット「そらナビ」で梅シロップの作り方紹介

毎日新聞、webによる梅シロップ広告

ホームページのご案内

【パソコン用】 <http://www.nakahyo.co.jp/>

【携帯用】 <http://www.nakahyo.co.jp/i/>

◆弊社南濃梅園



弊社ホームページ(パソコン用)にて、南濃梅園の生育状況を二週間毎にお知らせしています。ぜひ一度アクセスして頂き、氷糖販売のご参考にして頂ければ幸いです。

本年も引き続き梅酒、梅シロップのPRを積極的に行い、消費の拡大につなげていきたいと考えています。何卒、従来にも増して「馬印の氷砂糖」のご愛顧をお願い申し上げます。

2010年5月18日撮影

